



# 目指せ1000ha!

氏名：岡田 彬成

(平成24年度 農学科普通作コース卒業)

就農年	平成25年
就農地	龍ヶ崎市
経営品目	水稻88ha、ネギ1ha



## 【農業大学校に入学したきっかけ】

小さい時から田んぼでカエルやザリガニなど生き物を捕まえることや、収穫後の畑に残っているイモを探して放課後にひたすら土を掘ったり、自然と触れ合いながら幼少期を過ごしました。

もともと祖父が農業をやっていましたが、父は他産業に従事し祖父が亡くなった後、農地は貸していました。しかし、私が高校生の時、父が農地を返してもらい脱サラ農業を始めました。父から「再開した農業を継いで欲しい、農大に行って農業を勉強して欲しい」と進学を勧められたので、一緒に農業をやろうと決意し入学しました。

## 【在学中の思い出】

小さい農家出身だから、まったく農業について知らない状態でした。また、同級生の中には農業高校出身や大規模専業農家出身の友達もいて劣等感を感じた時もありました。

実習では、なかなか終わらない草取りなど「精神鍛錬だ!」と思い、一生懸命やりました。栽培のプロセスや農業機械の操作方法など、農家になるために必要な基本技術をたくさん身につけました。農大で学んだ基礎は今でも役に立っています。友達もたくさんでき、楽しい青春時代でした。



友達と過ごした楽しい青春時代

## 【在学中の出会い】

農大2年生の長期派遣実習で、栽培面積100haの稲作農家さんと衝撃的な出会いがあり、将来の目標ができました。

## 【現在の取り組み】

平成25年に親元就農し栽培面積12haでスタートしました。毎年水稻面積を拡大し、平成26年の経営移譲を経て令和元年に株式会社オカダファームを設立し法人化しました。

現在は、役員3名、社員3名、常時パート1名、季節パート10数名で、大型機械を導入し水稻88haを栽培しています。また、今では地域から畑の耕作も頼まれるようになり、ネギ1haを栽培しています。

## 【これからの夢や目標】

高齢化、担い手不足で農地の耕作依頼が急増しています。これからは栽培面積が100ha以上になっても対応できる体制づくりが不可欠と考えています。そのためには、①栽培技術の向上・人材育成・コストダウン、②1人あたりの作業効率の向上、③機械の大型化・高度化、④農地の区画拡大・集積、⑤データに基づいた栽培、⑥フランチャイズ農場など、まだまだやれることやるべき課題をクリアし、栽培面積1000haを目標に頑張ります!

## 【これから「農業を学びたい人」や「就農したい人」へのアドバイス】

- ① 農業関係で仕事をしていると、農大出身の人と色々なところで交流があるので、友達や先輩・後輩は大事にしましょう!
- ② 挨拶はマナー、時間は守ろう!
- ③ 地域の方々とのコミュニケーションを大事にしましょう!
- ④ 農業はトライ&エラーです。自分で最善策を探し出しましょう!



輸出米 (カリフォルニアのスーパ-にて)

